

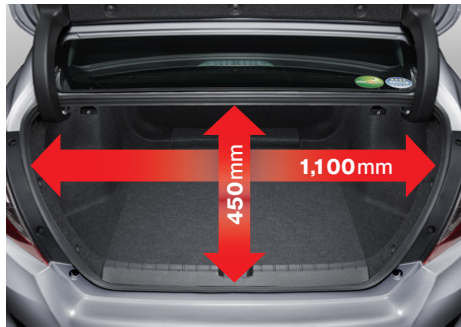
## 日常からロングドライブまで多用途に対応する、荷室のゆとりと使い勝手の良さ

### ■大容量に加えさまざまなモジュールにも対応したトランクスペース SEDAN

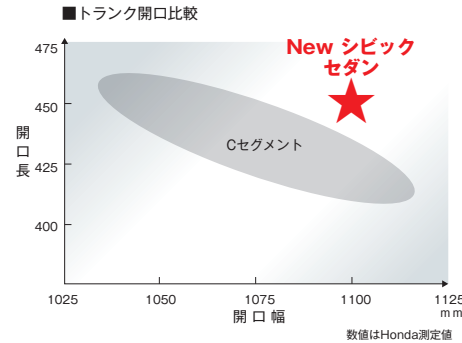
セダンでありながらもクーペのようなフォルムによってトランクスペースにボリュームを持たせることで、Cセグメントトップ\*の大容量519Lを確保しました。また、トランクリッドは左右に広く、なおかつバンパーラインから開く大開口によって荷物の出し入れ性を良好にするとともに、大型のスーツケースやゴルフバッグなどのモジュールにも対応。旅行やレジャーといったロングドライブでも使い勝手の良さを発揮します。また、リアシートを6：4分割可倒式としたうえでトランクスルー機構を採用。長尺物の積載にも対応しています。

※2017年7月現在 Honda調べ 数値はVDA方式によるHonda測定値

#### ■トランク開口



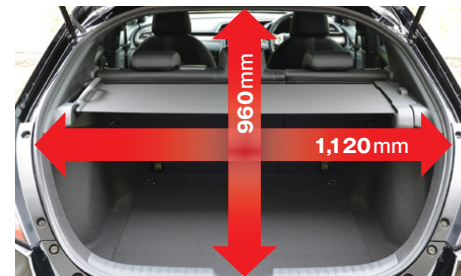
数値はHonda測定値



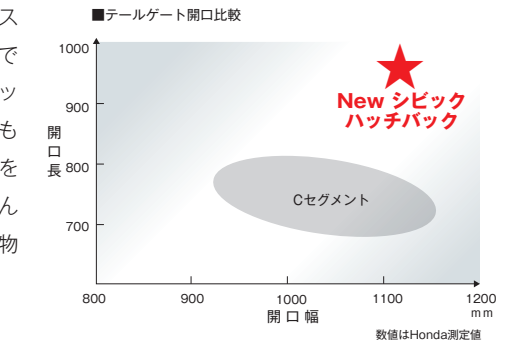
### ■大容量、大開口で使いやすい、ラゲッジスペース HATCHBACK

ハッチバックの最大の特徴と言えるのが、ラゲッジスペースの使い勝手です。バンパーラインからルーフまで大きく開くテールゲートは、Cセグメントハッチバックで群を抜く大開口を実現。大きな荷物の出し入れも容易に行え、なおかつ420Lの大容量を確保。後席を倒せば荷室がさらに広がり、ショッピングはもちろん旅行やレジャーなど、さまざまなシーンで多彩な荷物の積載に対応します。 数値はVDA方式によるHonda測定値

#### ■テールゲート開口



数値はHonda測定値



### 扱いやすく荷室を有効に使える横引きカーゴエアーカー

一般的には前後に操作する巻き取り式のトノカバーを、世界で初めて横引き機構\*としたカーゴエアーカー。しかも左右どちらからでも引き出し/巻き取りができるよう、設置箇所を両サイドに配置。リアシートを倒してラゲッジスペースを広く使う際にも、カバーを設置するバーが残ったり外したカバーの置き場に困ったりといったこともなく、左右のどちらかに巻き取ったままスッキリ広々としたスペースを活用することができます。

(特許出願中(2017年6月時点)) ※2017年7月現在 Honda調べ



カーゴエアーカーの巻き取り部は左右どちらにも設置可能



左右のリアホイールハウス上部に設置箇所を配置